



## 榎政信 議員 … 3件の一般質問

### 「住生活基本計画」 計画どおりに推進すべきではありますか

町長：新年度までよく検討したい

**榎** 質の高い住生活を掲げている「住生活基本計画」は、計画どおりに実施すべきです。  
**①「くっちゃん型住宅」の推進に補助を計画していますが、中小企業振興基本条例の精神にのっとり町内事業者に限定しますか。**

**②住宅改修促進補助事業。予算を縮小しても継続すべきではないか。**

**③耐震改修、バリアフリー改修の実績と今後の促進方策を説明願う。**

**町長** 道内で新築助成を行っている22市町村では、町内事業者に限定は5町村のみ。高度の技術力のある事業者が必要。町外業者も含むが、助成金に差がある。

リフォーム助成は平成22年から2年間の时限で行つた。住民の要望や事業者の経済的下支えのため1年延長した。来年度は移住促進も目的とした新築促進に移行予定。

3年で322件、5億1,000万円の工事費で5,922万円を助成。効果について、アンケート調査等で事業の検証を行う。

**榎** 新築助成の地元限定期定11市町村ある。中小企業振興基本条例の精神に反する。町内事業者だと何故だめなのか。住生活基本計画には既存の補助制度を継続する所ある。リフォーム助成も継続ではないのか。

**耐震改修は活用方策を考えるべき。**

**町長** 町内事業者がダメと言つていい。町内に有資格事業者が少數で不公平となる。

バリアフリーは継続。耐震改修は広報等で周知し促進していく。

**榎** 北方型住宅の基準も条件であるが、有資格者の在籍は不要で、皆が取組める。しかし、年度内に資格取得を目指し努力している事業者もいる。域内循環を考慮し事業者限定の再検討願う。

**町長** 新築助成は時間があるのでよく検討する。リフォームの継続も部内で再度検討する。

**榎** 可燃ごみの広域処理計画進んでいますか

**町長** 廃棄物広域処理、民間委託におけるリスク回避や対策の検討状況を説明願う。

燃料化不適物や残渣の処理の方向性や今後のスケジュールを伺う。

**町長** 委託事業者で処理不能の場合、近隣施設の協力を得る。また、各町村所有の最終処分で保管する。更に契約保証金を預かるなどを検討している。

不適物の処理は、事業者の業務提携内容で焼却か炭化などを判断する。

連絡協議会は、2町村の協議後行うが本年度中に事業者の選定を行いたい。

**生ごみ処理** 順調ですか

**榎** 生ごみ処理、民営で8年経過、堆肥化の生産量や活用など処理状況を説明願う。町担当者の生ごみ業務の管理状況や8年間の改善点、民設民営のメリット・デメリットを説明願う。

**町長** 平成23年度122.9tで全ごみ量の24.5%、資源化の半分を占める。堆肥生産量は約980立方メートル。肥料は春に市民に無料配布。残りは委託先関連農業法人に売却、委託先で利用や販売している。業務全般で担当職員が現地研究機関と共に良質堆肥製造に努力しており、町の関与はない。

**榎** 生ごみの域内循環

**当長** 民間に任せではなく積極的な取組みが必要ではないか。

一般廃棄物処理基本計画は、長期目標なので策定が間に合わない事項は、決まり次第変更したい。



# 常任委員会活動報告

## 総務常任委員会

本委員会では、毎月の第1・3金曜日に定期的に会議を開いており、様々な案件の審査を行っています。

前号の活動報告に引き続き、現在、委員会では昨年10月に開会された第9回臨時会に提出され、委員会に付託された陳情第5号「大間原発建設の無期限凍結を求める意見書」の提出を求める陳情について審査を行っています。陳情者の方から、陳情の趣旨などの説明を聞き、それらも参考にしながら審査を行つてきました。

政権が変わり、政府の方針が少しずつ変化をしている状況下での審査となりましたが、陳情の趣旨がおおむね理解できることから委員会として陳情を採択することで意見が集約されました。また陳情者から提出された意見書（案）につ

いては、陳情が出された10月とは状況が変わっていることもあり、委員会として文言の整理や修正を加えた意見書として本会議に掛けることになります。

今後は、本会議で陳情の採択について賛否が問われ、可決された後、さらに意見書の採択について賛否が問われ、可決された場合に総理大臣はじめ関係機関に提出されることがあります。

尚、付託された委員会で審査結果が採択であつても、本会議で否決されることもあります。

や、民間の処理施設を使用して委託することに伴う危険性等について、随時情報を収集しながら議論を重ねているところで

あります。町民の皆さん毎日の暮らしに関する重要なごみ処理の問題であることから、当委員会では、固形燃料化に伴う分別の追加（紙おむつ・生理用品等）の問題

と/or協議が続けられています。山麓町村との協議が続けられていますが、俱知安町長は、現在の焼却処理から固形燃料化処理方式へ変更し、月以降の可燃ごみの処理計画について、山麓町村と/or協議が続けられています。

そのため、平成27年4月以降の可燃ごみの処理に限られます。

当委員会に付託され現在審議を進めています。  
陳情の内容は、これ以上

の引き下げは憲法が定める（第25条）「健康で文化的な最低限度の生活」を脅かすものであり、最低賃金や年金、就学援助などに大きな影響を及ぼすので、引き下げをしないよう求める意見書を提出してほしいというものです。

本委員会では、担当課から制度のあらましの説明などを受け、精力的に取り組んでいるところであります。

本委員会では、商工観光課より提案の俱知安町住宅都市課より提案の俱知安町中小企業振興基本条例、安町都市公園条例、建設課より提案の安町道路占用料徴収条例・俱知安町河川管理条例・俱知

陳情第6号「生活保護基準の引き下げはしないことなどを政府に意見書提出を求める陳情書」の審議について

陳情第6号は昨年の12月定例議会に「全国生活と健康を守る会後志・小樽本部」から提出され、

俱知安町では、現在、町内旭の清掃センターで、山麓町村から搬入されたものを受け入れ、可燃ごみの焼却を行つています。現在地でのごみの焼

制定及び全部改正並びに一部改正について担当課各条例は原案通り可決されました。

12月定例議会において、各条例は原案通り可決されました。

## 今年も行います

### 3.11 東日本大震災 支援

## ハートフルバザー

とき / 3月10日（日）  
ところ / 俱知安中小企業センター  
主催 / 俱知安町議会議員会

# 特別委員会活動報告

## 自衛隊駐屯地特別委員会

### 中央要望活動



昨年11月11日に陸上自衛隊北部方面（札幌市）を訪問して岩田総監、また、第11旅団有吉旅団長に、俱知安駐屯地の存続と拡充を求める要望をしてきました。

これまで、北海道が一丸となつて自衛隊体制維持活動を行つてきましたが、「国家公務員の総人件費削減」に伴う自衛官の削減は、本町にとつて大変危惧されるところであり、今後も継続して要望していきます。

## 地域医療の確保に関する特別委員会



これまで、北海道群の廃止、第二戦車連隊及び第二特科連隊の縮小が実施されるとの方針が示されました。

これまで、北海道が一丸となつて自衛隊体制維持活動を行つてきましたが、「国家公務員の総人件費削減」に伴う自衛官の削減は、本町にとつて大変危惧されるところであり、今後も継続して要望していきます。

併知安町の医療の在り方（主に厚生病院）等について現在、特別委員会で議論を進めています。特に厚生病院は、併知安町及び羊蹄山麓の町村にとつては、基幹病院であります。23年度実績で6億9千万円の赤字となっています。

しかし、全額の損失補てんは困難なことから、救急・周産期医療に対するは困難なことから、救命においては、基幹病院であります。併知安厚生病院について検討を深めているところです。

併知安町の医療の在り方（主に厚生病院）等について現在、特別委員会で議論を進めています。特に厚生病院は、併知安町及び羊蹄山麓の町村にとつては、基幹病院であります。23年度実績で6億9千万円の赤字となっています。

しかし、全額の損失補てんは困難なことから、救命においては、基幹病院であります。併知安町が救急などの負担と合わせて2億円を限度として負担することにして

ています。また、厚生病院に対し経営改善計画の策定を求めるとともに、地域内のセンター病院であることから、内科・外科・周産期医療（産科・小児科）・整形外科・泌尿器科・精神神経科・救急医療など、どうしても必要な診療科を充実されるべきとしています。

本委員会としても、住民の暮らしと命を守るために基幹病院の在り方について検討を深めていた。前期においては主に中学校の適正配置について議論するため設置されました。前回においては主に中学校の適正配置について議論するため設置されました。

今回、設置に至った経過につきましては、小学校の適正配置について教育委員会及び審議会などで議論が始められており、議会として、児童生徒のより良い教育環境の充実のための情報の共有

や教育基盤づくりを議論していくために設置されました。今まで数回の特別委員会を開催し、その中で今後10年間の児童生徒数の把握や今まで審議会での審議の経過について説明を頂いております。

これまで数回の特別委員会を開催し、その中で今後10年間の児童生徒数の把握や今まで審議会での審議の経過について説明を頂いております。

## 学校適正配置に関する特別委員会



# 平成23年度 議会費決算報告

# どう使われている？

議云費

昨年9月の第3回定期会におきまして平成23年度一般会計の決算が認定されました。すでに町の広報等で決算の概要について報告されておりますが、議会費の決算内容を報告いたします。

平成23年度の一般会計の歳出額は、72億3677万円でした。その内、議会費として1億382万9576円が使われております。一般会計決算額の1・4%になります。内訳は下記の表に記載の通りです。

16名の議員の報酬と期末手当が4592万8千円で議会費の44%、事務局職員の給料が2106万円ですから、議会費の64%が人件費となります。

議員の共済費は、議員年金への町の負担金ですが、平成23年5月31日に議員年金制度が廃止され、それまで議員が支払っていた掛け金がなくなり、全額町の公費負担となりましたので、平成22年決算より2350万円ほど増額となっています。尚、

## 平成 23 年度 議 会 費 決 算 額

	区分	予算額	決算額	構成比
議員	報酬	3513万6千円	3507万4千円	33.78
	期末手当	1079万2千円	1079万1千円	10.39
	共済費	2923万8千円	2923万6千円	28.16
	旅費	284万5千円	187万6千円	1.81
職員	職員給与	2106万0千円	2082万3千円	20.06
	旅費	58万9千円	31万9千円	0.31
	交際費	33万8千円	26万9千円	0.26
需用費	消耗費	81万6千円	79万6千円	0.77
	印刷製本費	134万2千円	128万0千円	1.23
	修繕料	2万2千円	2万2千円	0.02
	役務費	7万8千円	7万8千円	0.08
委託料	機器保守料	13万2千円	13万1千円	0.13
	会議録調整	234万7千円	189万2千円	1.82
使用料	バス借上費	100万0千円	58万1千円	0.56
	備品購入費	4万9千円	4万9千円	0.05
負担金	後志町村議長会	49万1千円	49万1千円	0.47
	羊蹄山麓議長会	3万5千円	3万5千円	0.03
	会議等負担	10万0千円	7万9千円	0.08
	合計	1億0641万1千円	1億0382万9千円	100.00

\*千円以下切捨てのため合計金額が若干違います。

廃止時点では在職12年未満の議員には年金は支給されませんが、12年以上の方やOBの方には支給されます。

1万円が最高額でした。  
旅費は、議員研修や視察、要望活動などの交通費や宿泊費です。道外では東日本大震災被災地や新幹線建設促進、防衛省等への中央要望が行われました。

追録や書籍代、購読料に使われています。委託料の会議録調製は本会議の議事録作成を委託しています。また、本会議場のマイクなどの音響設備の保守点検も委託しています。

**負担金**は、町村議長会などの負担金で、議員研修など議員の資質向上や情報交流に活用されています。

町民の方々から議会に対しての、ご意見をお待ちしております。ぜひ皆様方のご意見をお待ちしております。



長尾 靖友さん  
68歳

## 遠い未来からの信託に応えよう

1980年代、フィンランド経済の成長はどこかの国のように、国債によって維持されてきた。しかし91年、ソ連崩壊などから景気後退の溝に落ち込んだ。失業率は20%程度にまで落ち込んだ。これを機にフィンランドは教育改革に着手した。つまり「米100俵」である。それから10年後には8・8%、2011年には7・8%と着実に減少している。日本と比べると高い失業率ではあるが、失業によつて苦難を味わつてい

る人は日本ほどではないそうだ。

そして今、いわゆる欧洲危機のさなかでもフィンランド国債は、AAAを維持している。

「米100俵」とは言う

までもなく小泉元首相の所信表明演説に引用された言葉で、長岡藩大参事小林虎三郎が、「100俵の米も食えばたちまちなくなるが、教育にあれば明日の一萬、百万俵となる」と藩士を説得して採つた施策である。フィンランドでもその成果が



フィンランドの地図

行政・議会関係者各位、遠い未来を原点として施策の具現化をお願い致します。

平成23年度のリフト利用者は11万9千人、前年より約7・4%減少しています。

町は、各種スキー大会への補助や少年団育成費の補助を行つております。スキーチ少年団にリフトシーズン券の減免等も行つていますが、スキーチの町宣言から40年が経過することからスキーチ人口の拡大など新たな戦略の検討材料として町技普及振興策を検討すると前向きな回答がありました。

# 町民のご意見

事ができていない。  
例えば「オンカロ」  
(原発から出る放射性廃棄物を10万年後まで誰も立ち入れないようにする

着実に現れているのではないか。OECDの学習到達度調査では、2000年に世界一となつて以来、トップを維持している。日本の点取りゲーム教育とは、およそ創造力・想像力・思考力、すなわち洞察力において比べものにならないだろう。つまり目前の危機をすり抜けるのに精一杯で（今日ではそれもままならないかもしけない）30年先、100年先を見据えて物事を考える

「町の活性化」「地域づくり」は、そんなところから自然に浮かび上がってくるのではないでしょうか。

行政・議会関係者各位、遠い未来を原点として施策の具現化をお願い致します。

「町民のご意見」に掲載の大谷喜久さんの『子供達を育していく中で』のご意見、「旭ヶ丘スキー場の小学生リフト利用料の無料化」の提案について、平成24年第4回定例会において、田中義人議員が「小学生のリフト無料化などスキーの町としての振興策」と題して町長と教育長に一般質問を行いました。

議会広報155号の「町民のご意見」に掲載の大谷喜久さんの『子供達を育していく中で』のご意見、「旭ヶ丘スキー場の小学生リフト利用料の無料化」の提案について、平成24年第4回定例会において、田中義人議員が「小学生のリフト無料化などスキーの町としての振興策」と題して町長と教育長に一般質問を行いました。

## 「町民のご意見」その後

# ～議会を傍聴してみませんか～

議会はいつでも、どなたでも傍聴できます。

**3月定例会は3月4日（月）からの予定です。**

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

TEL 56-8016（直通）

## 議会の動き (平成24年11月1日～平成25年1月31日まで)

11月 3日	平成24年度俱知安町文化協会文化賞・文化奨励賞授賞式に議長出席 俱知安町総合文化祭児童生徒作品展表彰式に議長出席	12月 1日	在京俱知安会に議長ほか議員出席
6日	第30回俱知安町小中学校音楽交歓会に議長出席	3～13日	俱知安町議会第4回定例会
7日	自衛隊駐屯地特別委員会	3日	本会議「議案審議」
8日	厚生文教常任委員会 経済建設常任委員会 地域医療の確保に関する特別委員会 総務常任委員会	6日	俱知安厚生病院運営委員会に議長出席
9日	小学生ドッジボール選手権大会に議長出席	10日	本会議「一般質問」 議会運営委員会
10日	第41回俱知安町連合吟詠剣詩舞発表大会に議長出席	11日	厚生文教常任委員会 本会議「一般質問」 議会運営委員会
11日	後志町村議會議長視察研修に議長出席	12日	総務常任委員会 経済建設常任委員会 地域医療の確保に関する特別委員会 本会議「一般質問」 議会運営委員会
12日	第56回町村議會議長全国大会に議長出席	13日	学校適正配置に関する特別委員会 本会議「議案審議」 自衛隊協力会時局講演並びに親睦交流会に議長ほか議員出席
14日	後志町村議會議長会臨時総会に議長出席	19日	「シャレーアイビー」オープニングに議長ほか議員出席
16日	俱知安ソフトボール協会平成24年度表彰及び納会に議長出席	20日	厚生文教常任委員会 ニセコひらふ臨時交番の開所式に議長出席
17日	俱知安中学校・東陵中学校閉校記念式典に議長ほか議員出席 俱知安中学校・東陵中学校閉校記念事業「思い出を語る会」に議長ほか議員出席	21日	総務常任委員会
19日	議会運営委員会 総務常任委員会	22日	南スーダン派遣施設隊（第2次）帰国行事に議長出席
20日	後志広域連合議会議運に議長出席 北海道新幹線シンポジウム in 俱知安町に議員出席	28日	羊蹄ハイツ年越会に議長出席
21日	東急新スキーセンター竣工報賽祭に議長出席	1月 4日	俱知安町新年交札会に議長ほか議員出席
22日	自衛隊道段階要望活動に議長ほか議員出席	7日	消防出初式に議長ほか議員出席
23日	グランヒラフ並びに町内スキー場合同安全祈願祭に議長ほか議員出席 ニセコひらふ安全センター開所式に議長ほか議員出席	11日	平成25年新年交札会並びに第55回商工模範従業員表彰式に議長出席
26日	総務常任委員会 経済建設常任委員会 地域医療の確保に関する特別委員会 学校適正配置に関する特別委員会 北海道新幹線（新函館（仮称）・札幌間）建設事業概要説明会に議員出席	13日	平成25年成人記念式典「はたちのつどい」に議長ほか議員出席 俱知安青年会議所新年交札会に議長出席
27日	厚生文教常任委員会 後志広域連合議会に議長出席	16日	羊蹄山麓町村議会正副議長会定期総会に正副議長出席
28日	総務常任委員会	18日	総務常任委員会
29日	議会運営委員会 経済建設常任委員会	20日	平成25年俱知安剣道連盟主催「鏡開き」に議長出席
30日	俱知安町双峰会研修会に議長出席 自衛隊中央要望活動に議長ほか議員出席	23日	俱知安町寿大学「新年のつどい」に議長出席
12月 1日	東京くっちゃん会総会に議長ほか議員出席	25日	平成25年文化協会「新年の集い」に議長出席 土地改良事業懇談会に副議長ほか議員出席

### —編集後記—

議会の求めに応えてこの12月定例議会から町政全般に関する町長・教育長による行政報告が定例的に行われることとなりました。今号ではその内容を簡単に報告しました。前号にはない新たな部分です。

編集委員会（議員6名で構成）方式による議会広報の編集作業がスタートしたのは2009年の秋でした。そしてその「議会広報改革」の第1弾として発行されたのが第1号（2009年12月1日）でした。それから数えて新方式での発行は今号で13号目となります。当時のメンバーとは半数ほどが入れ替わっていますが、編集委員会では「前号よりも良いものを目標に編集作業を重ねています。「一般質問と答弁の表現の仕方をもっと工夫できないか」「文字ばかりではなく写真を多用した方が見やすいのでは」「特集記事をどうするか…」。広報の改善に向けた編集委員会での議論は尽きません。議会広報と議会活動は車の両輪です。いくら見栄えのいい広報を作つたとしても、お伝えすべきしっかりといた議論は尽きません。「より良い議会広報はしつかりとした議会活動があつて成り立つ」ことを念頭に今後の議会活動と編集作業に当たっていきたいと思いま

（笠原）

## 俱知安町議会のホームページ

俱知安町議会

検索

ホームページアドレス <http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/gikai/top.jsp>  
Eメールアドレス [gikai@town.kutchan.lg.jp](mailto:gikai@town.kutchan.lg.jp)